

青森市新総合計画

—元気都市あおもり 市民ビジョン—

後期基本計画

フォローアップ表

第1分科会

新たな総合計画の行政分野から見た後期基本計画との対比表

新たな総合計画		後期基本計画		
分科会	行政分野	行政分野	施策番号	施策名
第1	産業・雇用	新産業創出	3-3-1	地域資源を活かした青森らしい産業の育成
		商工業・商店街	3-3-2	地場産業の経営体質の強化
		商工業・商店街	3-3-4	地域と一体となった商店街の形成
		企業立地	3-4-1	本市の強みを活かした企業誘致の推進
		雇用	3-4-2	仕事と生活の調和のとれた働き方の促進
		観光	3-5-1	広域観光の推進
	観光	観光	3-5-2	観光資源の充実
		観光	3-5-3	受入態勢の充実
		観光	3-5-4	国内外からの誘客の推進
		農林水産業	3-1-1	意欲ある担い手の育成
	農林水産業	農林水産業	3-1-2	足腰の強い農業経営の促進
		農林水産業	3-1-3	競争力の高い漁業経営の促進
		農林水産業	3-1-4	あおり商品の販売力の強化
		農林水産業	3-2-1	農地の維持・保全
		農林水産業	3-2-2	森林の維持・保全
		農林水産業	3-2-3	漁港・漁場環境の維持・保全
		商工業・商店街	3-3-3	流通機能の強化
		第2	子育て支援	子育て支援
子育て支援	2-4-2			子ども支援の充実
子育て支援	2-4-3			子育て支援の充実
学校教育	4-1-1			教育活動の充実
学校教育	4-1-2			教育環境の充実
学校教育	4-1-3			就学指導・支援の充実
文化	文化・芸術		4-3-1	文化・芸術活動の推進
	文化・芸術		4-3-2	文化芸術資源の継承・まちづくりへの活用
	文化・芸術		4-3-3	文化財の保存・発信
スポーツ	スポーツ		4-4-1	スポーツ・レクリエーション活動の推進
	スポーツ		4-4-2	ウィンタースポーツの推進
	スポーツ		4-4-3	競技水準の向上
市民協働	住民自治・市民参加		1-1-1	市民参加・参画による政策の推進
	住民自治・市民参加		1-1-2	市民との情報共有の充実
	市民協働		1-1-3	地域コミュニティの活性化
	市民協働		1-1-4	多様な主体の連携協働によるまちづくりの推進
その他	行政経営		1-2-1	戦略的な行財政運営
	行政経営		1-2-2	職員の能力開発と組織の活性化
	行政経営		1-2-3	行政サービスの利便性の向上
	行政経営		1-2-4	行政サービスへの民間活力の活用
	生涯学習・社会教育		4-2-1	生涯を通じた学習活動の推進
	生涯学習・社会教育		4-2-2	未来を切り拓く青少年の育成
	都市間交流		6-1-1	活発な移住・交流を支える広域交流拠点の形成
	土地利用・市街地		6-1-3	暮らしやすい日常生活拠点の形成
	健康づくり	2-1-1	生涯を通じた健康づくりの促進	
	健康づくり	2-1-2	感染症対策の充実	
	医療	2-1-3	地域医療の充実	
医療	2-1-4	国民健康保険制度の安定的運用		
介護	2-2-3	介護サービスの充実		
保健衛生	5-2-4	衛生的な生活環境の確保		
第3	障がい者福祉	障がい者福祉	2-3-1	障がい者の地域生活支援の充実
		障がい者福祉	2-3-2	障がい者の自立した生活の確保
	高齢者福祉	高齢者福祉	2-2-1	地域包括ケア体制の充実
		高齢者福祉	2-2-2	高齢者の生きがい・元気づくりの充実
	男女共同参画	男女共同参画・人権・平和	2-6-1	男女共同参画社会の形成
	その他	社会福祉	2-5-1	地域福祉の充実
		社会福祉	2-5-2	生活困窮者の自立促進
		男女共同参画・人権・平和	2-6-2	互いを尊重し支え合う社会の形成
		男女共同参画・人権・平和	2-6-3	平和意識の高揚
		交通安全・防犯	5-4-1	交通安全活動の推進
		交通安全・防犯	5-4-2	防犯対策の推進
		消費生活	5-4-3	消費者自立支援対策の推進
土地利用・市街地		6-1-2	機能的でにぎわいのある都市拠点の形成	
第4	まちづくり	土地利用・市街地	6-2-1	効率的で計画的な土地利用の推進
		景観	6-2-2	緑豊かな美しい都市景観の形成
		住生活	6-3-1	良好な住まいづくりの促進
		交通	6-4-1	広域交通網の充実
		交通	6-4-2	都市内公共交通の充実
		交通	6-4-3	快適な道路環境の確保
		防災	5-3-1	防災力・消防力の総合的な強化
	防災・雪対策	防災	5-3-2	災害防止対策の推進
		雪処理	6-3-2	雪対策の推進
		環境保全	5-1-1	自然保護活動の推進
	環境	循環型社会	5-1-2	ごみの減量化・リサイクルの強化
		循環型社会	5-1-3	再生可能エネルギーの導入・省エネ活動の促進
		環境保全	5-2-1	適正な汚水排除・処理の確保
		環境保全	5-2-2	公害対策の推進
		循環型社会	5-2-3	適正な廃棄物処理の確保

【行政分野】

産業・雇用

【後期基本計画における施策数】 5

- 3-3-1 地域資源を活かした青森らしい産業の育成
- 3-3-2 地場産業の経営体質の強化
- 3-3-4 地域と一体となった商店街の形成
- 3-4-1 本市の強みを活かした企業誘致の推進
- 3-4-2 仕事と生活の調和のとれた働き方の促進

1. 施策の基本情報

施策番号	3 - 3 - 1	施策名	地域資源を活かした青森らしい産業の育成					
施策の現状と課題	本市産業の自立的な発展に向け、地域資源を最大限に活かしながら、農商工連携・産学官金連携を通じて、今後、成長が見込まれる産業や意欲のある新たな起業家の育成などに取り組む必要があります。 また、本市経済を支える中小企業の経営体質の改善・強化や、域外への所得流出を抑制し域内で循環させる、地域経済の好循環を通じて、地場産業の総合力の強化を図る必要があります。							
施策の概要	産学官金連携を通じた、食、環境、福祉、保健などの分野における地域特性を活かした産業の育成や、新たな分野や国外をも視野に入れた新たな市場に挑戦する地元企業に対する支援体制の充実を図ります。 《成長が見込まれる産業の育成》《起業化の促進》《貿易の振興》							
目標とする指標		基準値	実績値				傾向	
		H27	H28	H29	H30	H31	H32	
① 地域資源を活用した商品開発の支援件数 <small>（地域資源を活用した商品開発に対して、市が支援した件数）</small> （単位：件） （指標の方向：+）	目標値	237 (H26)	247	252	257	260	265	
	指標値	237 (H26)	372	224	**	**	**	
	達成率	/	150.6%	88.9%	**	**	**	
	進捗状況	基準値より減少し、目標値を下回っています。						
達成度 [※]	B							
② 法人設立数 <small>（法人の設立または設置の届出のあった数）</small> （単位：件） （指標の方向：+）	目標値	173 (H26)	300	300	300	300	300	
	指標値	173 (H26)	317	233	**	**	**	
	達成率	/	105.7%	77.7%	**	**	**	
	進捗状況	基準値より増加しましたが、目標値を下回っています。						
達成度 [※]	B							
③ （単位：） （指標の方向：）	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	進捗状況							
達成度 [※]								
④ （単位：） （指標の方向：）	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	進捗状況							
達成度 [※]								
市民意識調査	満足度調査				ニーズ度調査			H28 第 36 / 75 位
	項目内容	地域資源を有効活用した産業等が育成されるとともに、起業・創業するための環境が構築されている					H28	
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答			
	年度	H28	7.0%	30.2%	23.2%	39.7%		

※ 「目標とする指標」における達成度
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	青森と首都圏をつなぐビジネス交流拠点構築事業 （東青地域連携 （H28：継続） （H29：拡充）	H27～	東青地域の町村（平内町、今別町、蓬田村、外ヶ浜町）と連携し、東青地域事業者の首都圏での販路拡大と事業展開を支援するため、首都圏と地元でテレビ会議システムを有するビジネス交流拠点を運営し、首都圏の「AoMoLink～赤坂～」においては、域内の産品、商品等のPR、テストマーケティング、厨房併設型テストショップを活用したイベント、商談などを行い、地元の「あおもり地域ビジネス交流センター（あおビジ）」においては、各種相談対応を通じ、起業から販路開拓に至る一連の事業活動をサポートしました。
2	がんばる企業応援事業 （H28～29：拡充）	H22～	金融機関、商工団体等で構成する「がんばる企業応援協議会」を設置し、産業支援機関が一体となって事業者を支援する体制を構築し、企業交流会・商談会の開催や、専門のコーディネーターによる新商品開発、販路開拓等のサポート等を行いました。 また、物産関係の団体と連携し域内の物産振興を図るとともに、日本貿易振興機構青森貿易情報センター（ジェトロ青森）や県内自治体と連携しながら、海外の販路拡大支援に取り組み、平成28、29年度は経済発展が著しいベトナムにおいて、商談会、物産展等を開催しました。
3	地域企業新ビジネス挑戦支援事業 （H29：新規）	H29～	地域金融機関からの融資を受けて本市で事業を興す中小企業や創業者に対し、初期投資に関する経費を助成する「地域企業新ビジネス挑戦助成金」制度を創設しました。 主な実績として、平成29年度の助成実績は6件となっています。
4	地域ベンチャー支援事業 （H29：新規）	H29～	「しごと創り」に向け、本市での起業マインドの醸成を図るため、学生等を対象とした「起業セミナー」を開催するとともに、起業・創業がしやすい街づくり、いわゆる「スタートアップ都市づくり」に先進的に取り組む関係自治体による「スタートアップ都市推進協議会」に平成29年5月に加入し、マッチングイベント「スタートアップセレクション」に本市に所在する中小企業者を参加させ、今後の企業間連携、販路拡大等のビジネスチャンスの拡大を図りました。

3. 施策の総合評価と今後の課題

<p>【総合評価】 「成長が見込まれる産業の育成」については、産学金官の産業支援機関と連携し、新たな商品づくりや販路開拓等に取り組むチャレンジ精神旺盛な事業者の支援に取り組みましたが、指標「地域資源を活用した商品開発の支援件数」の実績値は目標値及び基準値を下回っています。 「起業化の促進」については、「あおビジ」における起業・創業支援の専門家（インキュベーションマネージャー）のサポートにより、平成29年度は27人が起業しましたが、指標「法人設立数」は実績値は目標を下回っています。 「貿易の振興」については、関係機関や自治体と連携しながら海外での商談会などを実施し、事業者の販路拡大に取り組ましました。</p> <p>【今後の課題】 地域資源や特性を活かした産業を創出・育成するため、産学金官の連携により、起業・創業や地域企業の新事業展開、販路開拓支援等に取り組む必要があります。</p>
--

4. 今後踏まえるべき環境変化

<p>青森商工会議所が移転に伴って整備する「スタートアップセンター」の開設（平成30年7月）</p>
--

1. 施策の基本情報

施策番号	3 - 3 - 2	施策名	地場産業の経営体質の強化					
施策の現状と課題	本市経済を支える中小企業の経営体質の改善・強化や、域外への所得流出を抑制し域内で循環させる、地域経済の好循環を通じて、地場産業の総合力の強化を図る必要があります。							
施策の概要	中小企業者の経営安定と経営体質の強化に向けた取組をはじめ、再挑戦しやすい環境づくりを進めるとともに、企業間連携を通じて地域内の産業連関を高め地域産業基盤の強化を図ります。 《中小企業の体質強化》《中小企業の経営支援》							
目標とする指標		基準値	実績値				傾向	
		H27	H28	H29	H30	H31	H32	
① 倒産件数 〔負債総額1千万円以上の年間の倒産件数〕 (単位：件) (指標の方向：-)	目標値	26 (H26)	15	15	15	15	15	
	指標値	26 (H26)	13	13	**	**	**	
	達成率	/	115.4%	115.4%	**	**	**	
	達成度※	基準値より減少し、順調に推移しています。						
	進捗状況	A						
② 融資件数 〔市制度融資の利用件数〕 (単位：件) (指標の方向：+)	目標値	480	555	555	555	555	555	
	指標値	480	550	523	**	**	**	
	達成率	/	99.1%	94.2%	**	**	**	
	達成度※	基準値より増加し、目標値と同程度で推移しています。						
	進捗状況	B						
③ (単位：) (指標の方向：)	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	達成度※							
	進捗状況							
④ (単位：) (指標の方向：)	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	達成度※							
	進捗状況							
市民意識調査	満足度調査					ニーズ度調査		
	項目内容	中小企業の経営体質の改善・強化が図られ、経営改善に取り組む中小企業への支援体制が充実している					H28	第 34 / 75 位
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答			
	年度	H28	3.8%	25.8%	28.6%	41.9%		

※ 「目標とする指標」における達成度
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	地場産業振興資金融資事業 (H27：継続) (H28：拡充) (H29：継続)	H27～	事業活動に必要な設備投資に関する資金に対する市独自の融資制度として、50%の信用保証料補給を行いました。 実績として、利用件数が平成28年度は86件、平成29年度は100件となっています。
2	事業活動応援資金支援事業（県融資制度協調支援） (H27～29：継続)	H25～	経営基盤が脆弱な中小企業者の積極的な事業活動を支援するため、青森県の融資制度である「事業活動応援資金」（事業活動枠）に協調し、30%の信用保証料補給を行いました。 実績として、利用件数が平成28年度は350件、平成29年度は304件となっています。
3	経営安定化資金支援事業（県融資制度協調支援） (H27：新規) (H28～29：継続)	H27～	売上高の減少などにより経営の安定に支障が生じている事業者の支援のため、青森県の融資制度である「経営安定化サポート資金」（経営安定枠）に協調し、100%の信用保証料補給を行いました。 実績として、利用件数が平成28年度は25件、平成29年度は10件となっています。
4	小規模事業者経営改善資金支援事業 (H27～29：継続)	H26～	経営改善を図ろうとする小規模事業者を支援するため、青森商工会議所又は青森市浪岡商工会の経営指導を受けて㈱日本政策金融公庫の小規模事業者経営改善資金を利用した場合に1年間の利子分を補助しました。 実績として、補助金交付件数が平成28年度は188件、平成29年度は88件となっています。

3. 施策の総合評価と今後の課題

<p>【総合評価】 「中小企業の体質強化」「中小企業の経営支援」については、本市経済を支える中小企業者に対する金融面での支援として、資金調達の円滑化と財政的負担の軽減を図る各種融資制度等の取組を行い、指標となっている「融資件数」は目標を若干下回っているものの、内訳としては設備投資などといった前向きな融資の件数が増加傾向にあるほか、「倒産件数」は低水準で推移しています。</p> <p>【今後の課題】 中小企業の多くは経営基盤が弱く経済情勢の変化による影響を受けやすいことから、経営の安定と経営体質の強化を図るため、社会環境の変化等に応じた支援に取り組んでいく必要があります。</p>
--

4. 今後踏まえるべき環境変化

--

1. 施策の基本情報

施策番号	3 - 3 - 4	施策名	地域と一体となった商店街の形成					
施策の現状と課題	商店街については、商品の流通経路の多様化や大規模小売店舗の進出による小規模小売店舗の減少に伴い、既成市街地が空洞化しており、地域の商店街については、地域全体の衰退が懸念されることなどから、地域に根ざした商店街の活性化を図る必要があります。							
施策の概要	地域特性に応じた個性と魅力ある商店街づくりを促進します。 《商店街基盤の充実》《商店街の魅力の向上》							
目標とする指標		基準値	実績値					傾向
		H27	H28	H29	H30	H31	H32	
① 商店街商店数 (商店街に加入している商店数の累計) (単位：店) (指標の方向：+)	目標値	702	702	702	702	702	702	
	指標値	702	689	669	**	**	**	
	達成率	/	98.1%	95.3%	**	**	**	
	進捗状況	基準値より減少し、目標値を下回っています。						
達成度 [※]	C							
② 商店街での新規開業件数 (後期基本計画期間内における、商店街で新規に開業した件数の累計) (単位：店) (指標の方向：+)	目標値	48	50	100	150	200	250	
	指標値	48	66	-	**	**	**	
	達成率	/	132.0%	-	**	**	**	
	進捗状況	基準値より増加し、目標値を上回っています。						
達成度 [※]	A							
③ 商店街に対する満足度 (地域の商店街が活気に満ちていると思う市民の割合) (単位：%) (指標の方向：+)	目標値	3.2	3.7	4.2	4.7	5.2	5.7	
	指標値	3.2	4.0	-	**	**	**	
	達成率	/	108.1%	-	**	**	**	
	進捗状況	基準値より増加し、目標値を上回っています。また、基礎データとなる調査の内容が平成29年度から変更となったため、平成29年度は実績なしとなっています。						
達成度 [※]	A							
④	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	進捗状況							
達成度 [※]								
市民意識調査	満足度調査					ニーズ度調査		
	項目内容	地域と密着した地域色豊かな商店街づくりが進むなど、地域の商店街が活気に満ちている					H28	第 3 / 75 位
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答			
	年度	H28	4.0%	18.5%	62.0%	15.5%		

※ 「目標とする指標」における達成度
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	商店街振興支援事業 (H27:拡充) (H28~H29:継続)	H2~	地域コミュニティの核として重要な役割を担う商店街の自主的な活動等を支援し、にぎわいの創出や魅力ある商店街づくりを促進するとともに地域と一体となった商店街の形成を図りました。 実績として、イベント支援・ライトアップ支援・イメージアップ支援の助成件数が平成28年度は31件、平成29年度は34件となっています。
2	商店街空き店舗対策事業 (H27~H29:継続)	H24~	商店街の魅力・活力・集客力を低下させる要因の一つである空き店舗の解消を図るため、空き店舗に出店する中小企業者等に対し、店舗賃借料と店舗改装工事費の一部を助成しました。 実績として、商店街空き店舗対策事業補助件数は、平成28年度が24件、平成29年度が23件となっており、中心商店街における空き地・空き店舗率は平成28年度が、平成29年度ともに13.1%となっています。
3	中心商店街活性化支援事業 (H27~H29:継続)	H11~	中心商店街の空き店舗を借り上げ、中心市街地活動拠点「まちまちプラザ」として、中心市街地が連携して実施する共同事業の活動拠点や中心市街地を訪れる来街者の休憩場所として活用しました。 実績として、まちまちプラザ訪問者数は、平成28年度は7,450人、平成29年度は11,607人となっています。
4			

3. 施策の総合評価と今後の課題

【総合評価】

「商店街基盤の充実」については、経営者の後継者不足等により、指標「商店街商店数」の実績値は目標値及び基準値を下回り減少傾向にありますが、各商店街や青森商工会議所等との連携による空き店舗支援などの取組により、指標「商店街での新規開業件数」の実績値は目標値を上回っています。

「商店街の魅力の向上」については、地域の特性を活かした商店街によるイベント等への支援に取り組み、指標「商店街に対する満足度」の実績値は目標値を上回っています。

【今後の課題】

商店街における商業・サービス・コミュニティ機能等の向上を図るため、担い手育成や商店街・個店の魅力向上の促進に取り組む必要があります。

4. 今後踏まえるべき環境変化

1. 施策の基本情報

施策番号	3 - 4 - 1	施策名	本市の強みを活かした企業誘致の推進					
施策の現状と課題	バックアップ機能やサテライトオフィスなど、企業の進出形態は多様化してきており、経済・雇用創出効果の高い企業の集積に向け、本市の有する地域特性や新幹線開業によるメリットを最大限に活かした、戦略性と競争力を備えた企業誘致を展開する必要があります。							
施策の概要	本市の有する地域特性を活かすとともに、新幹線開業効果を最大限に獲得しながら、戦略性と競争力を備えた企業誘致を推進します。 《企業誘致の推進》《受入態勢の整備》《立地企業の定着化》							
目標とする指標		基準値	実績値					傾向
		H27	H28	H29	H30	H31	H32	
① 市外からの新規誘致企業数 〔後期基本計画期間内における、市外から誘致した企業数の累計〕 (単位：社) (指標の方向：+)	目標値	4	3	6	9	12	15	
	指標値	4	2	6	**	**	**	
	達成率	/	66.7%	100.0%	**	**	**	
	進捗状況	基準値より増加し、目標値を達成しています。						
達成度*	B							
② 工業団地立地件数 〔後期基本計画期間内における、市内工業団地に立地した企業数〕 (単位：社) (指標の方向：+)	目標値	3	2	4	6	8	10	
	指標値	3	0	0	**	**	**	
	達成率	/	0.0%	0.0%	**	**	**	
	進捗状況	基準値から増減がなく、目標値を下回っています。						
達成度*	C							
③ 誘致企業の定着率 〔誘致した企業の市内への定着率〕 (単位：%) (指標の方向：+)	目標値	73.7	74.2	74.2	74.2	74.2	74.2	
	指標値	73.7	76.0	76.9	**	**	**	
	達成率	/	102.4%	103.6%	**	**	**	
	進捗状況	基準値より増加し、目標値を上回っています。						
達成度*	A							
④	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	進捗状況							
達成度*								
市民意識調査	満足度調査						ニーズ度調査	
	項目内容	本市の「強み」を活用した積極的な誘致活動の展開により、企業が誘致されている					H28	第 10 / 75 位
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答			
	年度							
H28	2.7%	16.9%	50.2%	30.2%				

※ 「目標とする指標」における達成度
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	企業誘致活動事業 (H23～29：継続)	—	職員が企業訪問（延べ約60社）や展示会・見本市等へ参加（計6回）し、本市の企業立地環境のPRを行いました。 また、既立地企業等を定期的に訪問し、企業ニーズ把握等の情報収集を行いました。
2	企業誘致関係機関連携事業 (H23～29：継続)	S54～	県や商工会議所などの関係団体と青森市企業誘致協議会や青森中核工業団地企業立地推進協議会を組織し、展示会・見本市等への出展や既立地企業のフォローアップなど、官民連携による活動を行いました。 主な実績として、展示会・見本市への出展が平成28年度は2回、平成29年度は1回、ハローワークによる合同企業説明会の開催が平成29年度は7回となっています。
3	誘致企業等立地支援事業 (H23：拡充) (H24～25：継続) (H26：見直し・拡充) (H27：拡充) (H28～29：継続)	—	企業誘致を促進するため、本市への企業進出時におけるの初期投資や雇用の状況に応じて各種助成金を交付しました。 主な実績として、助成実施件数（延べ）は平成28年度、平成29年度のいずれも9件となっています。
4	青森県企業誘致推進協議会運営事業（負担金） (H23～29：継続)	H5～	県内市町村と関係機関で組織する青森県企業誘致推進協議会に負担金を支出し、同協議会が主催する産業立地フェア等において本市企業立地環境のPRや情報収集等を行いました。 主な実績として、研修会・セミナー等への参加が平成28年度は3回、平成29年度は2回となっています。

3. 施策の総合評価と今後の課題

<p>【総合評価】 「企業誘致の推進」「受入態勢の整備」については、コールセンターやソフト開発等のオフィス立地により、指標「市外からの新規誘致企業数」の実績値は目標値を上回りましたが、指標「工業団地立地件数」の実績値は目標値を下回っています。 「立地企業の定着化」については、既立地企業の採用活動等のサポートに取り組み、指標「誘致企業の定着率」の実績値は目標値を上回っています。</p> <p>【今後の課題】 産業構造・雇用環境の変化等に対応し、多様な企業立地や既立地企業の定着促進等に取り組む必要があります。</p>

4. 今後踏まえるべき環境変化

--

1. 施策の基本情報

施策番号	3 - 4 - 2		施策名	仕事と生活の調和のとれた働き方の促進				
施策の現状と課題	人材が不足傾向にある産業へのマッチングなど、国や県、企業との連携による就業機会の拡大と雇用の安定化を図るとともに、仕事と家庭の両立を図りながら、年齢、性別を問わず、誰もが安心して意欲を持って働くことのできる労働環境を構築する必要があります。							
施策の概要	関係機関との連携によるキャリア教育、雇用・労働相談機能の強化を通じて就業機会の充実を図るとともに、誰もが生き生きと安心して働ける労働環境づくりを促進します。 《キャリア研修の促進》《就業支援体制の充実》《仕事と生活の調和の促進》							
目標とする指標		基準値	実績値					傾向
		H27	H28	H29	H30	H31	H32	
① 有効求人倍率 〔青森公共職業安定所管内の有効求人倍率〕 (単位：倍) (指標の方向：+)	目標値	0.95 (H26)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
	指標値	0.95 (H26)	1.42	1.56	**	**	**	
	達成率	/	142.0%	156.0%	**	**	**	
	達成度※	A	基準値より増加し、目標値を大きく上回っています。					
② 雇用に関する満足度 〔働く場が確保されていると思う市民の割合〕 (単位：%) (指標の方向：+)	目標値	2.1	2.4	2.7	3.0	3.3	3.6	
	指標値	2.1	-	-	**	**	**	
	達成率	/	-	-	**	**	**	
	達成度※	-	基礎データとなる調査の内容が平成28年度から変更となったため平成28年度及び29年度は実績なしとなっています。					
③ 労働環境の満足度 〔働きやすい環境にあると思う市民の割合〕 (単位：%) (指標の方向：+)	目標値	4.8	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0	
	指標値	4.8	4.8	-	**	**	**	
	達成率	/	80.0%	-	**	**	**	
	達成度※	C	基準値と変わらず目標値を下回っています。また、基礎データとなる調査の内容が平成29年度から変更となったため平成29年度は実績なしとなっています。					
④	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	達成度※							
市民意識調査	満足度調査						ニーズ度調査	
	項目内容	子育てや介護のためなどの休暇を取得しやすいことや、働く人々が健康で安心して働くことができるなど、働きやすい環境にある					H28	第 5 / 75 位
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答			
	年度	H28	4.8%	24.0%	50.3%	20.8%		

※ 「目標とする指標」における達成度
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	移住・定住促進就職支援事業 (H29:新規)	H29~	平成29年7月に「青森市Uターン就活サポートデスク」を開設し、市内企業の人材確保支援及びUターン人材の就職支援等を行いました。 また、市内の高校生・大学生等への地元就職のPRや、地元就職した若者への定着支援等を行いました。 平成29年度の主な実績として、「青森市Uターン就活サポートデスク」において、181名のUターン人材の就職相談を行い、4名が市内にUターン就職しました。
2	職業能力開発資金貸与事業 (新規分) (H23:縮小) (H24~29:継続)	H15~	あおりコンピュータ・カレッジに入学しているかたのうち、経済的理由により職業訓練の受講が困難なかたに職業能力開発資金を無利子で貸与することで、IT人材を育成し、市内企業の情報処理技術者の確保を図りました。 実績として、職業能力開発資金貸与者数（新規貸与者）が平成28年度、平成29年度いずれも5名となっています。
3	労働者福祉増進事業（補助金） (H23~29:継続)	S45~	中小企業が多い本市において、大企業に比べて立ち遅れが見られる中小企業の勤労者の生活の安定と福祉の向上を図るため、青森市勤労者互助会に補助金を交付することにより、会員である中小企業の勤労者に対する福利厚生充実を図りました。 主な実績として、青森市勤労者互助会の会員数が平成28年度は1,196名、平成29年度は1,214名となっています。
4	労働関係団体助成事業（負担金） (H23~29:継続)	—	若年者、高齢者、障がい者、女性等を取り巻く雇用・労働問題や地域における様々な課題等の解決に取り組んでいる青森雇用対策協議会、公益財団法人21世紀職業財団及び青森県労働協会へ負担金を支出し、雇用促進や労働環境の改善に向けた活動を支援しました。 主な実績として、各団体の会議（総会）開催回数が平成28年度、平成29年度いずれも3回となっています。

3. 施策の総合評価と今後の課題

【総合評価】

「キャリア研修の促進」「就業支援体制の充実」については、職業能力開発支援や「青森市Uターン就活サポートデスク」による就職支援等に取り組んでおり、指標「有効求人倍率」の実績値は、目標値を上回っています。

「仕事と生活の調和の促進」については、職場環境改善の啓発活動等に取り組みましたが、指標「労働環境の満足度」の実績値は目標値を下回っています。

【今後の課題】

雇用情勢が改善し地元企業の人手不足感が高まっていることから、Uターン人材を含む地元企業の採用活動の支援や、働きやすい職場環境づくりの促進に取り組む必要があります。

4. 今後踏まえるべき環境変化

有効求人倍率の動向

働き方改革関連法案の動向

【行政分野】

観光

【後期基本計画における施策数】 4

- 3-5-1 広域観光の推進
- 3-5-2 観光資源の充実
- 3-5-3 受入態勢の充実
- 3-5-4 国内外からの誘客の推進

1. 施策の基本情報

施策番号	3 - 5 - 1		施策名	広域観光の推進					
施策の現状と課題	観光地間の広域的な連携を図ることにより、四季を通じて滞在できる通年型・滞在型観光を推進し、観光地としての魅力を高める必要があります。								
施策の概要	観光地としての魅力を高めるため、拠点機能を活かした県内や道南地域などとの広域観光を推進します。《連携体制の構築》《メニューの造成》								
目標とする指標		基準値	実績値					傾向	
		H26	H28	H29	H30	H31	H32		
① 観光入込客数（延べ人数） 〔本市を訪れた観光客数〕 達成度※ （単位：千人） （指標の方向：+） A	目標値	5,769	5,845	5,884	5,922	5,960	5,998		
	指標値	5,769	6,013	-	**	**	**		
	達成率	/	102.9%	-	**	**	**		
	進捗状況	基準値より増加し、概ね目標どおりとなっています。平成29年度の実績値については、平成30年12月に公表予定です。							
② 観光入込客数（宿泊者数） 〔本市を訪れた観光客のうち宿泊者数〕 達成度※ （単位：千人） （指標の方向：+） A	目標値	1,592	1,637	1,648	1,658	1,669	1,679		
	指標値	1,592	1,816	-	**	**	**		
	達成率	/	110.9%	-	**	**	**		
	進捗状況	基準値より増加し、目標値を上回っています。平成29年度の実績値については、平成30年12月に公表予定です。							
③ （単位：） （指標の方向：）	目標値								
	指標値								
	達成率	/							
	進捗状況								
④ （単位：） （指標の方向：）	目標値								
	指標値								
	達成率	/							
	進捗状況								
市民意識調査	満足度調査						ニーズ度調査		
	項目内容	県内各市町村や函館市などの道南地域との連携体制が強化され、広域連携による魅力ある観光商品が造られている						H28	第 49 / 75 位
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答				
	年度								
H28	12.9%	36.2%	29.6%	21.4%					

※ 「目標とする指標」における達成度
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	広域観光推進事業 (H23～26：拡充) (H27～29：継続)	H6～	北海道新幹線（奥津軽いまべつ駅・新函館北斗駅）開業を契機に、本市の拠点機能を活用した更なる滞在型観光を推進するため、県をはじめ、津軽・下北・東青・青函圏地域の自治体や関係事業者等との協議・調整を行い、県内観光資源と本市の観光資源を組み合わせた観光ルートの構築と商品造成、PRに取り組んでいます。 主な実績として、中京圏や東北地方に向けて青森市・弘前市・五所川原市の共同プロモーション広告を実施しました。
2	青函地域広域観光ネットワーク構築事業 (H23～29：継続)	S50～	首都圏等での各種プロモーションを通じて青函圏域を宣伝紹介し、観光客の誘致を図っています。 主な実績として、仙台や中京圏における青函共同プロモーションを実施しました。
3	青函圏観光都市会議事業 (H24：新規) (H25～26、H28～29：継続) (H27：拡充)	H24～	青森市・弘前市・八戸市・函館市の4市の広域連携によって広域観光エリアを形成し、その観光の魅力の増進により、国際競争力を高め、内外からの観光旅客の来訪及び滞在の促進に取り組んでいます。 主な実績として、ガイドブック製作（繁体字）、札幌市や4市のイベントでの共同プロモーション、プロモーション映像製作などを実施しました。
4			

3. 施策の総合評価と今後の課題

【総合評価】

北海道新幹線の開業や青森県・函館県デスティネーションキャンペーンの実施等により、「連携体制の構築」については、県内及び青函での広域観光を推進していくための環境（組織）が整備され、共同プロモーション、滞在を促すための仕組みづくりなど、連携体制の強化が図られています。

また、「メニューの造成」については、青函を結ぶ観光商品が造成されるなど、広域観光ルートが開発され、魅力ある商品造成や観光ブランドの確立が着実に推進されており、指標「観光入込客数（延べ人数）」及び「観光入込客数（宿泊者数）」の実績値は目標値を上回っています。

【今後の課題】

多様化する観光客のニーズに対応するため、周辺市町村や道南地域などと連携した観光商品造成や圏域のPRに取り組む必要があります。

4. 今後踏まえるべき環境変化

東京オリンピック・パラリンピックの開催（平成32年）

北海道新幹線札幌延伸（平成42年）

1. 施策の基本情報

施策番号	3 - 5 - 2	施策名	観光資源の充実					
施策の現状と課題	自然、歴史・文化、食などの本市ならではの観光資源の充実を図ることにより、四季を通じて滞在できる通年型・滞在型観光を推進し、観光地としての魅力を高める必要があります。							
施策の概要	観光地としての魅力を高めるため、自然、歴史・文化、食などの地域特性を活かした観光資源の充実を図ります。 《観光魅力の向上》《観光施設の充実》							
目標とする指標		基準値 H26	実績値					傾向
		H28	H29	H30	H31	H32		
① 観光入込客数（延べ人数） 〔再掲〕 本市を訪れた観光客数 達成度※ A (単位：千人) (指標の方向：+)	目標値	5,769	5,845	5,884	5,922	5,960	5,998	
	指標値	5,769	6,013	-	**	**	**	
	達成率	/	102.9%	-	**	**	**	
	進捗状況	基準値より増加し、概ね目標どおりとなっています。平成29年度の実績値については、平成30年12月に公表予定です。						
② 冬季観光入込客数（延べ人数） 冬季に本市を訪れた観光客数 達成度※ A (単位：千人) (指標の方向：+)	目標値	1,538	1,613	1,624	1,634	1,645	1,655	
	指標値	1,538	1,708	-	**	**	**	
	達成率	/	105.9%	-	**	**	**	
	進捗状況	基準値より増加し、概ね目標どおりとなっています。平成29年度の実績値については、平成30年12月に公表予定です。						
③ 達成度※ (単位：) (指標の方向：)	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	進捗状況							
④ 達成度※ (単位：) (指標の方向：)	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	進捗状況							
市民意識調査	満足度調査						ニーズ度調査	
	項目内容	自然や歴史・文化、温泉、特産品などの観光資源を活用した観光振興が行われている					H28	第 27 / 75 位
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答			
	年度							
H28	20.5%	39.6%	26.1%	13.9%				

※ 「目標とする指標」における達成度
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	青森ねぶた祭活性化事業 (H28：継続) (H29：拡充)	—	本市の観光資源の中核をなす青森ねぶた祭をより充実させ、活性化していくための支援、各種事業を実施しました。平成28年度、平成29年度の2カ年で、老朽化により劣化が著しいラッセランドの更新事業を実施し、ねぶた祭開催環境の充実を図りました。 主な実績として、大型・子ども・地域ねぶた、大太鼓 奨励金・運行助成金等交付団体が平成28年度は102団体、平成29年度は100団体となっています。
2	八甲田地区観光商品造成支援事業 (H28：継続) (H29：拡充)	H19～	青森市、山形市及び北秋田市が連携し、八甲田連峰、蔵王山及び森吉山のそれぞれの樹氷のある雪山の魅力を一体的に海外に向け発信するため、「国際樹氷サミット」をねぶたの家ワ・ラッセにおいて開催し、130名の参加がありました。
3	冬季観光イベント開催事業 (H28、H29：継続)	H22～	冬季観光を推進するため、地域資源を活用した魅力ある観光イベントとして「あおり灯りと紙のページェント」、「八甲田丸イルミネーション」、「あおり雪灯りまつり」、「青森冬まつり」、「ザ・もつけ祭&冬花火」を官民一体となった推進体制により開催しました。平成29年度には、本市の観光資源である「樹氷」や、同時期に開催したアートに関するイベント「AOMORI トリエンナーレ2017」と連携し、一体となってイベントを実施しました。 主な実績として、冬季イベント開催日数が平成28年度は73日、平成29年度は91日となっています。
4			

3. 施策の総合評価と今後の課題

【総合評価】

「観光魅力の向上」については、地域資源を活かしたイベント（青森春まつり、AOMORI春フェスティバル、青森ねぶた祭、雪灯りまつり、あおり冬まつり）等の開催や支援への取組により、四季を通じた通年型・滞在型観光を推進しており、特に観光客数の落ち込む冬季間の本市の魅力発信のため、山形市や北秋田市との連携により、八甲田の樹氷の国際ブランド化を目指す取組を行いました。

「観光施設の充実」については、各施設において企画展等を行うなど、観光客が楽しめる展示内容の充実や体験型観光の推進に取り組み、指標「観光入込客数（延べ人数）」及び「冬季観光入込客数（延べ人数）」の実績値はいずれも目標値を上回っています。

【今後の課題】

今後国内外の観光客の増加が見込まれるため、新たな観光資源の掘り起しと磨き上げ、体験型観光など四季を通じた魅力づくりにより、通年型・滞在型の観光振興に取り組む必要があります。

4. 今後踏まえるべき環境変化

東京オリンピック・パラリンピックの開催（平成32年）

1. 施策の基本情報

施策番号	3 - 5 - 3	施策名	受入態勢の充実					
施策の現状と課題	東北新幹線新青森駅開業や北海道新幹線開業に伴う効果を最大限に獲得するとともに、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催やクルーズ客船の青森港への寄港増加などに対応するため、観光客が回遊しやすい移動手段や周遊コースの充実を図るとともに、国内外の観光客が快適に楽しめる観光案内や市民や事業者のホスピタリティの向上などの受入態勢の強化を図る必要があります。							
施策の概要	観光地としての魅力を高めるため、ホスピタリティの向上などを通じた受入態勢の強化に取り組みます。 《ホスピタリティの向上》《観光ルートの形成》《MICE支援の充実》							
目標とする指標	基準値	実績値					傾向	
	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
① 観光入込客数（延べ人数）[再掲] 本市を訪れた観光客数 達成度※ A (単位：千人) (指標の方向：+)	目標値	5,769 (H26)	5,845	5,884	5,922	5,960	5,998	
	指標値	5,769 (H26)	6,013	-	**	**	**	
	達成率	/	102.9%	-	**	**	**	
	進捗状況	基準値より増加し、概ね目標どおりとなっています。平成29年度の実績値については、平成30年12月に公表予定です。						
② おもてなしの活動をした市民の割合 おもてなし関連活動への参加者数 達成度※ C (単位：%) (指標の方向：+)	目標値	6.7	7.4	8.1	8.8	9.5	10.0	
	指標値	6.7	7.1	-	**	**	**	
	達成率	/	95.9%	-	**	**	**	
	進捗状況	基準値より増加していますが、目標値を下回っています。						
③ 達成度※ (単位：) (指標の方向：)	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	進捗状況							
④ 達成度※ (単位：) (指標の方向：)	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	進捗状況							
市民意識調査	満足度調査					ニーズ度調査		
	項目内容	観光客へのおもてなしの心が養われているとともに、バスやタクシーなどの交通事業者との連携により、観光ルートができています					H28	第 39 / 75 位
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答			
	年度	H28	11.6%	33.2%	37.0%	18.2%		

※ 「目標とする指標」における達成度
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	観光ガイド育成・運営事業 (H23～29：継続)	H19～	クルーズ船の寄港時などにおいては、「街てく」市民ボランティアガイドが、本市の「おもてなし役」として、街なか散策コースの観光ツアーを実施しています。 また、街てくガイドのツアー等参加者数は、平成28年度は1,196人、平成29年度は2,149人となっております。
2	青森市観光交流情報センター管理運営事業 (H23～29：継続)	H20～	多様化する観光客に対応するため、青森駅前の観光案内所において、交通案内や観光案内などの情報発信を行っています。また、外国人観光客が増加している状況を踏まえ、常時、外国語（英語）が対応可能なスタッフを配置しているほか、青森市フリーWi-Fiを設置し、国内外からの観光客向けの受入態勢の整備に努めています。 案内所利用者の実績は、平成28年度は69,118人、平成29年度は72,666人となっております。
3	あおもり観光情報センター管理運営事業 (H23～29：継続)	H22～	多様化する観光客に対応するため、新青森駅構内の観光案内所において、交通案内や及び観光案内などの情報発信を行っています。また、外国人観光客が増加している状況を踏まえ、常時、外国語（英語）が対応可能なスタッフを配置しているほか、青森市フリーWi-Fiを設置し、国内外からの観光客向けの受入態勢の整備に努めています。 案内所利用者の実績は、平成28年度は56,243人、平成29年度は56,923人となっております。
4	観光ボランティア支援事業 (H23～29：継続)	H7～	三内丸山遺跡の保存と活用を図る活動している三内丸山応援隊への補助や、観光イベントのお手伝いを行うボランティア団体「青森市観光サポーター」の登録・運営、観光ボランティアのホスピタリティ向上と交流促進を目的としたボランティア交流会を行っています。 観光サポーターは、平成29年度に「TRAIN SUITE 四季島」運行（42回）の際、歓迎ボランティアとして観光客のおもてなしに参加しました。

3. 施策の総合評価と今後の課題

【総合評価】

「ホスピタリティの向上」については、外国語対応による観光案内所機能の強化や観光ボランティアによる「おもてなし」の充実を図っているものの、おもてなしに対する活動機会が少ないなどの理由から、指標「おもてなしの活動をした市民の割合」の実績値は目標値を下回っています。

「観光ルートの形成」については、観光ルートバスを使った観光施設の情報発信などを進めることで、クルーズ客船寄港時などインバウンド利用が増加しており、「MICE支援の充実」については、観光コンベンション協会などとの連携した大会や会議などの主催者への情報提供や開催支援に取り組みました。

【今後の課題】

国内外からの観光客等に、滞在期間中、より快適に過ごしてもらうための環境整備や利便性の向上に取り組む必要があります。

4. 今後踏まえるべき環境変化

東京オリンピック・パラリンピックの開催（平成32年）

1. 施策の基本情報

施策番号	3 - 5 - 4	施策名	国内外からの誘客の推進					
施策の現状と課題	東北新幹線新青森駅開業や北海道新幹線開業に伴う効果を最大限に獲得するとともに、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催やクルーズ客船の青森港への寄港増加などに対応するため、関係団体との連携のもと、戦略的かつ的確、効果的な情報発信と誘客活動を進めていく必要があります。							
施策の概要	旅行者のニーズに対応した誘客活動などに努め、戦略的な観光振興を推進します。 《誘客の促進》《観光魅力の発信》《MICE誘致の促進》							
目標とする指標		基準値	実績値					傾向
		H27	H28	H29	H30	H31	H32	
① 観光入込客数（延べ人数）[再掲] 本市を訪れた観光客数 (単位：千人) (指標の方向：+)	目標値	5,769 (H26)	5,845	5,884	5,922	5,960	5,998	
	指標値	5,769 (H26)	6,013	-	**	**	**	
	達成率	/	102.9%	-	**	**	**	
	達成度 [※]	A	基準値より増加し、概ね目標どおりとなっています。平成29年度の実績値については、平成30年12月に公表予定です。					
② 観光入込客数（県外客数） 県外から本市を訪れた観光客数 (単位：千人) (指標の方向：+)	目標値	2,285 (H26)	2,285	2,301	2,316	2,330	2,345	
	指標値	2,285 (H26)	2,712	-	**	**	**	
	達成率	/	118.7%	-	**	**	**	
	達成度 [※]	A	基準値より増加し、目標値を大きく上回っています。平成29年度の実績値については、平成30年12月に公表予定です。					
③ 外国人宿泊客数 海外から本市を訪れた宿泊客数 (単位：人) (指標の方向：+)	目標値	9,357	12,557	15,747	18,957	22,157	25,357	
	指標値	9,357	11,958	20,949	**	**	**	
	達成率	/	95.2%	133.0%	**	**	**	
	達成度 [※]	A	基準値より増加し、平成28年度は目標値に達しませんでした。平成29年度は目標値を大幅に上回っています。					
④ MICE開催数 後期基本計画期間内における、本市でのMICEの開催件数（累計） (単位：件) (指標の方向：+)	目標値	56 (H26)	60	120	180	240	300	
	指標値	56 (H26)	75	96	**	**	**	
	達成率	/	125.0%	80.0%	**	**	**	
	達成度 [※]	C	統計のもととなる青森県観光連盟の開催実績が、平成28年度から大規模MICE助成金対象事業のみを公表しており、それ以前の実績数値の基準と異なるため、累計として平成28年度は目標値を上回っていますが、平成29年度は下回っています。					
市民意識調査	満足度調査						ニーズ度調査	
	項目内容	国内外に向けた観光情報の発信や観光プロモーションを通じた、効果的な誘客宣伝活動が行われている					H28	第 47 / 75 位
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答			
	H28	9.3%	31.6%	32.5%	26.6%			

※ 「目標とする指標」における達成度
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	観光情報提供事業 (H23、27：拡充) (H24、26、28～29：継続) (H25：縮小)	H11～	首都圏でのキャンペーンや情報発信などに使用する観光パンフレットの作成や「ねぶたん」などの観光キャラクターの活用により、本市の観光情報や魅力を広く発信しています。 主な実績として、平成28年度にキャンペーンなどで使用した観光パンフレットの配布枚数は、平成28年度は51,024部、平成29年度は57,220部となっています。
2	外国人観光客誘客促進事業 (H27、29：継続) (H23～26、28：拡充)	H15～	韓国、中国、台湾など東アジアの国々をターゲットに、多言語の観光パンフレットを作成し観光情報を提供するとともに、現地の旅行会社などに対するプロモーション活動を行っています。 主な実績として、平成28年の市内主要宿泊施設における外国人宿泊者数は11,958人泊、平成29年は20,949人泊となっています。
3	コンベンション誘致・開催支援事業 (H23、27～28：拡充) (H24～26、29：継続)	H13～	本市で開催される学術会議などのコンベンションに対する支援制度の実施により、誘客促進に努めております。また、平成27年度に観光庁から「国際会議観光都市」に認定されたことを受け、国際会議やMICEの誘致に取り組んでいます。 主な実績として、平成28年度のMICE開催数は19件、平成29年度は21件となっています。
4	オリンピック・パラリンピック事前合宿等誘致推進事業 (H29：新規)	H29～	オリンピック・パラリンピックの事前合宿誘致に向けた施設概要のリーフレットを作成し、海外の競技チームに対して誘致活動を行っています。 主な実績として、2018年平昌冬季パラリンピック大会に出場するロシアからの車椅子カーリングチームの事前合宿を行いました。

3. 施策の総合評価と今後の課題

【総合評価】

「誘客の推進」「観光魅力の発信」については、首都圏やアジア地域での効果的な観光プロモーションの実施や観光パンフレットやインターネットを使った魅力ある観光コンテンツの情報発信などに取り組んでいます。また、北海道新幹線開業や国際チャーター便の就航、クルーズ客船の寄港回数の増加などにより、本市を訪れる国内外からの観光客は順調な伸び率を示し、指標「観光入込客数（延べ人数）」、「観光入込客数（県外客数）」及び「外国人宿泊客数」の実績値は、いずれも目標値を上回っています。

「MICE誘致の促進」については、青森観光コンベンション協会などとの連携により、国際会議の誘致やパラリンピックの合宿誘致などについて、プロモーションや誘致活動を実施しているものの、結果として指標「MICE開催数」の実績値は目標値を下回っています。

【今後の課題】

交流人口を増加させていくため、関係機関との連携による本市の魅力を活かしたプロモーションに取り組む必要があります。

4. 今後踏まえるべき環境変化

東京オリンピック・パラリンピックの開催（平成32年）

国際航空路線の充実

クルーズ客船寄港数の増加

北海道新幹線札幌延伸（平成42年）

【行政分野】

農林水産業

【後期基本計画における施策数】 8

- 3-1-1 意欲ある担い手の育成
- 3-1-2 足腰の強い農業経営の促進
- 3-1-3 競争力の高い漁業経営の促進
- 3-1-4 あおもり産品の販売力の強化
- 3-2-1 農地の維持・保全
- 3-2-2 森林の維持・保全
- 3-2-3 漁港・漁場環境の維持・保全
- 3-3-3 流通機能の強化

1. 施策の基本情報

施策番号	3 - 1 - 1	施策名	意欲ある担い手の育成				
施策の現状と課題	農林水産業の成長産業化と食料供給力の持続・発展を図るため、新規就業者や企業の農業参入など、新たな担い手の確保を図るとともに、就業・経営の各段階に応じたサポート体制の構築や農林水産業団体や組織経営体の育成を通じて、多様な担い手を確保する必要があります。						
施策の概要	担い手の育成を進めることにより、農林水産業の安定的経営と発展を推進します。 《多様な担い手の確保》《安定した経営体の育成》						
目標とする指標		基準値	実績値				傾向
		H27	H28	H29	H30	H31	H32
① 担い手経営体数 (認定農業者数、集落営農組織、農業生産法人数の合計) (単位：経営体) (指標の方向：+)	目標値	298 (H26)	379	385	391	396	401
	指標値	298 (H26)	345	336	**	**	**
	達成率	/	91.0%	87.3%	**	**	**
	達成度※ 進捗状況	C	指標値は減少傾向で推移していますが、目標値の約9割となっています。				
② 新規就農者数 (市内での新規就農者数) (単位：人) (指標の方向：+)	目標値	8 (H26)	9	10	10	11	11
	指標値	8 (H26)	3	9	**	**	**
	達成率	/	33.3%	90.0%	**	**	**
	達成度※ 進捗状況	C	指標値は年度による変動がありますが、平成29年度では目標値の9割となっています。				
③ (単位：) (指標の方向：)	目標値						
	指標値						
	達成率	/					
	達成度※ 進捗状況						
④ (単位：) (指標の方向：)	目標値						
	指標値						
	達成率	/					
	達成度※ 進捗状況						
市民意識調査	満足度調査				ニーズ度調査		
	項目内容	研修や相談機能などを通じて、農林水産業の意欲ある担い手や団体が育成されている				H28	第 45 / 75 位
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答		
	年度	H28	5.3%	27.8%	18.8%		

※ 「目標とする指標」における達成度
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	認定農業者育成事業 (H28～29:継続)	H17～	農業経営の改善に向けた意欲と能力のある農業者及び農業者組織の育成を図るため、農業者等が自ら作成する農業経営改善計画の新規認定及び再認定を行い、認定農業者の育成・確保に努めました。 主な実績として、認定農業者数が平成28年度は326経営体、平成29年度は314経営体となっています。
2	新規就農総合支援事業 (H28～29:継続)	H24～	就農初期段階の青年新規就農者に対し、国の補助により農業次世代人材育成資金経営開始型を交付し、経営の安定化を図りました。 また、青年新規就農者の経営発展や定着化を支援するため、市独自に、農地賃借料のほか新規作物や機械等の導入等の経費に対し助成する『新規就農者定着化支援事業』を実施し、経営初期段階のステップアップに必要な取組を支援しました。 主な実績として、青年新規就農者数が平成28年度は3経営体、平成29年度は9経営体となっています。
3	農業移住・新規就農サポート事業 (H28～29:継続)	H27～	東青管内町村との連携により、農業移住・新規就農の促進に向けた情報発信、就農相談、現地巡回による栽培指導等の総合窓口となる『あおもり就農サポートセンター』を平成28年度に開設し、新規就農者の定着化に努めています。 主な実績として、巡回指導回数が平成28年度は225回、平成29年度は655回となっています。
4	りんご生産後継者育成支援事業 (H28～29:継続)	S32～	地域に根付いた生産意欲の高いりんご生産後継者の育成を図るため、公益財団法人青森県りんご協会へ『青森県りんご産業基幹青年養成事業』『青森県りんご病害虫マスター養成事業』『青森県りんご剪定士養成事業』を委託し実施しています。 主な実績として、平成29年度の受講者数は『青森県りんご産業基幹青年養成事業』が4人、『青森県りんご病害虫マスター養成事業』が2人、『青森県りんご剪定士養成事業』が2人となっています。

3. 施策の総合評価と今後の課題

【総合評価】

担い手経営体については、高齢化などの理由から個人の認定農業者数は減少していますが、継続的な経営に向けた各種講習会や研修会を通じて、集落営農組織の法人化や個別経営体からの農業生産法人への移行が見られるなど、多様な担い手が確保されてきており、指標値は目標値の約9割となっています。新規就農者については、新規就農総合支援事業により毎年確保されるとともに、農業移住・新規就農サポート事業の実施により相談窓口機能の強化や新規就農者へのサポート体制の充実により、定着化を図っています。

【今後の課題】

農林水産業従事者の高齢化や就業人口の減少が引き続き見込まれることから、地域農林水産業における担い手の確保・育成を進めていく必要があります。
担い手となる農業者の経営安定のため、大規模な経営体の育成・確保に向け、農地中間管理機構を通じて地域の中心となる経営体への農地の利用集積を進める必要があります。

4. 今後踏まえるべき環境変化

経済連携協定の拡大による農林水産業政策への影響

1. 施策の基本情報

施策番号	3 - 1 - 2	施策名	足腰の強い農業経営の促進					
施策の現状と課題	生産・経営面については、就業者の高齢化にも対応した作業の省力化・効率化や新たな農産物の発掘・普及などにより生産性や収益性の向上による経営の高度化を図るとともに、複数の農産物を生産する複合経営やグリーンツーリズムなどによる経営の多角化を通じて、自然災害や産地間競争などの外部環境の変化に強い経営を促進する必要があります。							
施策の概要	経営の多角化や新たな品目の発掘・普及などにより、農林水産業の安定的経営と発展を推進します。 《経営の高度化》《経営の多角化》《資源循環型農業》							
目標とする指標		基準値 H27	実績値					傾向
		H28	H29	H30	H31	H32		
① 農林水産業所得額 (市民所得のうち、農林水産業所得額) (単位：億円) (指標の方向：+)	目標値	23.6 (H24)	23.8	23.9	24.0	24.2	24.3	
	指標値	23.6 (H24)	-	-	**	**	**	
	達成率	/	-	-	**	**	**	
	進捗状況	この指標は青森県市町村民経済計算統計調査の数値を用いておりますが、現在の最新値が平成26年度のため、実績を記載できません。						
② 米・畑作物の収入減少影響緩和対策への加入面積 (収入減少による農業経営への影響を緩和するための国の収入減少影響緩和対策への加入面積) (単位：ha) (指標の方向：+)	目標値	1,157.8	1,600.0	1,900.0	1,900.0	1,900.0	1,900.0	
	指標値	1,157.8	1,290.7	1,201.0	**	**	**	
	達成率	/	80.7%	63.2%	**	**	**	
	進捗状況	指標値である米・畑作物の収入減少影響緩和対策の加入率は目標を下回る状況となっています。						
③ (単位：) (指標の方向：)	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	進捗状況							
④ (単位：) (指標の方向：)	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	進捗状況							
市民意識調査	満足度調査						ニーズ度調査	
	項目内容	環境にやさしい農業や、農業経営の高度化・多角化が行なわれている					H28	第 61 / 75 位
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答			
	年度	H28	6.7%	27.3%	17.5%	48.5%		

※ 「目標とする指標」における達成度
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	米・畑作物の収入減少影響緩和対策加入促進支援事業 (H28～29:継続、終了)	H27～29	国が実施している農作物の標準的収入額を下回った場合に補填する「米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）」の加入促進のため、ナラシ対策に加入しようとする担い手農業者の拠出金の一部（10%）を平成29年度まで助成しました。 主な実績として、平成28年度は、191件の3,805,368円、平成29年度は、153件の1,833,938円となっています。
2	あおもり農業所得向上対策事業 (H29:拡充新規)	H29～	トマトの生産拡大と農家所得の向上を図るため、トマトハウスの整備資材の導入に係る経費の一部（補助率1/4）を支援します。また、県の野菜・花きハウス等導入促進事業（補助率1/4）も活用して産地化を進めています。 事業実績 県 平成28年度 1件 キク 4.27a 平成29年度 実績なし 市 平成29年度 2件 10.4a
3	果樹生産防除機械・施設整備事業（補助金） (H28～29:継続)	H24～	生産者の高齢化や農産物の価格変動により、老朽化した設備更新が難しい状況を踏まえ、気象災害によるリスク回避及び災害に強い園地づくりの推進、さらには良品なりんごの安定的な生産を確保するため、「りんご園の防風網の張替えに要する経費」について助成を行ないました。 主な実績として、平成28年度は、11件の1,238m、平成29年度は、9件の1,093mとなっています。
4	奨励作物等栽培研究事業 (H28～29:継続)	S53～	本市の農業は、コメとりんごに特化しており、単一作物の栽培は自然災害や価格変動等の影響を受けやすく、経営上のリスクが大きいことから、農業経営の複合化を推進するため、トマト、ネギ、ピーマン、トルコギキョウなどの市奨励作物の栽培を推進するとともに、そのほかに新品種野菜（西洋野菜）など高品質で収益性の高い作物の研究開発を行いました。 主な実績として、平成28年度は、トマト台木品種比較調査など8件、平成29年度は、トマト低段密植栽培調査、施肥の違いによる藍の生育状況調査など6件となっております。

3. 施策の総合評価と今後の課題

【総合評価】

平成27年度以降の「農林水産業所得額」は未確定ですが、本市の主要作物であるりんごは近年高値基調で推移しており、コメについても、平成26年産の価格が暴落したものの、回復基調にあり、平成26年度（19.6億円）と比較して増加するものと見込まれます。

米価下落対策として実施した国の「米・畑作物の収入減少影響緩和対策」への加入面積は伸び悩みを見せており、目標の達成は困難な状況です。

【今後の課題】

コメやりんごのみの単一経営は、天候や市場価格による経営への影響を受けやすいことから、農業経営の安定を図るため、自然災害に備えた災害補償制度への加入促進のほか、複数の農産物を生産する複合経営などの経営の多角化や作業の省力化などによる経営体質の強化と所得向上に取り組む必要があります。

4. 今後踏まえるべき環境変化

国内外における異常気象の発生
経済連携協定の拡大による農林水産業政策への影響

1. 施策の基本情報

施策番号	3 - 1 - 3	施策名	競争力の高い漁業経営の促進					
施策の現状と課題	生産・経営面については、就業者の高齢化にも対応した作業の省力化・効率化や新たな栽培漁業品目の発掘・普及などにより生産性と収益性の向上による経営の高度化を図るとともに、ブルーツーリズムなどによる経営の多角化などを通じて、自然災害や産地間競争などの外部環境の変化に強い経営を促進する必要があります。							
施策の概要	経営の高度化・多角化への取り組みを通じて、水産業の安定的経営と発展を推進します。 《経営の高度化・多角化》							
目標とする指標		基準値	実績値					傾向
		H26	H28	H29	H30	H31	H32	
① 漁業生産額 (漁業生産額の合計) (単位：百万円) (指標の方向：+)	目標値	1,602	2,402	2,480	2,557	2,633	2,717	
	指標値	1,602	3,627	2,979	**	**	**	
	達成率	/	151.0%	120.1%	**	**	**	
	達成度※	目標値を上回って推移しています。						
	進捗状況	A						
② 資源管理型漁業生産量 (ナマコ生産量) (単位：t) (指標の方向：+)	目標値	87	93	119	145	171	200	
	指標値	87	83	85	**	**	**	
	達成率	/	89.2%	71.4%	**	**	**	
	達成度※	目標値を下回っていますが、低下していた生産量に回復（増加）傾向が見られます。						
	進捗状況	C						
③ (単位：) (指標の方向：)	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	達成度※							
	進捗状況							
④ (単位：) (指標の方向：)	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	達成度※							
	進捗状況							
市民意識調査	満足度調査						ニーズ度調査	
	項目内容	むつ湾の環境に配慮しながらつくり育てる水産業や、漁業経営の高度化・多角化が行われている					H28	第 75 / 75 位
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答			
	年度	H28	7.5%	28.9%	12.8%	50.8%		

※ 「目標とする指標」における達成度
 A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	つくり育てる漁業推進事業 (H28～29:継続)	S40～	ホタテガイ養殖業のみに頼らない漁業構造にし、漁業経営の安定を図るため、ナマコ・ワカメ種苗の安定生産を進めるとともに、陸奥湾産マボヤ天然採苗の更なる効率化に向けた試験等、新たな魚種の開発も進めました。 主な実績として、平成29年度には、稚ナマコ178,000個の放流、ワカメ種苗16,400mの配布等を行いました。
2	ホタテガイ養殖調査・情報事業 (H28～H29:継続)	S47～	ホタテガイの安定生産を図るため、ホタテガイ養殖に必要な各種調査を実施し、漁業者が適時適切な養殖作業を行うために必要な情報を提供しました。 平成29年度は、ホタテガイ養殖の各作業時期にあわせて、ラーバ（幼生）調査・付着稚貝調査・海水温調査等を実施し、漁業者へ情報提供を行いました。
3			
4			

3. 施策の総合評価と今後の課題

【総合評価】

本市漁業の中心であるホタテガイの安定生産を図るため、漁業者へのきめ細かな情報提供を行うとともに、ホタテガイ養殖との複合養殖に適したナマコ等の種苗生産に取り組み、概ね目標とする指標の実績値は目標に近い水準で推移しています。

【今後の課題】

近年、陸奥湾の異常高水温被害等が発生していることから、自然災害など外部環境の変化に強い経営を促進する必要があります。

4. 今後踏まえるべき環境変化

陸奥湾の高水温被害の発生

1. 施策の基本情報

施策番号	3 - 1 - 4	施策名	あおり製品の販売力の強化					
施策の現状と課題	加工・流通・販売面については、「食のまち・青森市」を通じて、あおり製品の販売力の強化に向け、農工商連携・産学官金連携などを通じて、あおり製品の抱える商品の付加価値の低さや大消費地との距離などの「弱み」を克服し、県内最大の消費地を有する「強み」や地域の特性を活かすなど、あおり製品の販売促進に関する総合力を発揮できる環境を構築する必要があります。							
施策の概要	生産から販売に至る産業間の連携を通じて、あおり製品の高付加価値化や、域内外への消費拡大を促進します。 《魅力ある商品づくりの推進》《地産地消活動の推進》《域外への販売促進》							
目標とする指標		基準値	実績値					傾向
		H27	H28	H29	H30	H31	H32	
① 農林水産業総生産額 (市内総生産のうち、農業、林業、水産業の生産額の合計) (単位：億円) (指標の方向：+)	目標値	88.94 (H24)	88.94	89.69	90.44	91.25	92.01	
	指標値	88.94 (H24)	-	-	**	**	**	
	達成率	/	-	-	**	**	**	
	進捗状況	この指標は青森県市町村経済計算統計調査の数値を用いておりますが、現在の最新値が平成26年度のため、実績を記載できません。						
② 身近な農水産物を得ることができる満足度 (身近な農水産物を得ることができると思う市民の割合) (単位：%) (指標の方向：+)	目標値	20.9	20.9	22.3	23.7	25.0	26.4	
	指標値	20.9	23.4	-	**	**	**	
	達成率	/	112.0%	-	**	**	**	
	進捗状況	この指標の数値は市民意識調査による満足度指数ですが、平成29年度から設問の内容が変更になっているため、実績を記載できません。なお、平成28年度は目標を上回る結果となっています。						
③ (単位：) (指標の方向：)	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	進捗状況							
④ (単位：) (指標の方向：)	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	進捗状況							
市民意識調査	満足度調査						ニーズ度調査	
	項目内容	あおり製品の消費拡大体制が確立され、地産地消活動が進むことにより、身近な農水産物を得ることができる					H28	第 31 / 75 位
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答			
	年度	H28	23.4%	38.9%	19.9%	17.8%		

※ 「目標とする指標」における達成度
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	あおもり産品販売促進事業 (H28～H29:拡充)	H18～	農林水産物の販売促進を図り、農林水産業の発展と農林水産業者の所得向上を目的に、あおもり産品販売促進協議会等の関係団体と連携しながら、本市の魅力ある農林水産物の地産地消や域内外への販売促進活動などを進めました。 【主な実績】トップセールス実施回数 28年度：3回 29年度：4回
2	生産者6次産業化支援事業 (補助金) (H28:新規) (H29:継続)	H28～	農林水産業の多角化と生産者の所得向上、さらには農林水産物の高付加価値化を図るため、生産者が行う農商工連携による6次産業化に向けた初期段階の取り組みを支援しました。 【主な実績】補助件数と補助金額 28年度：3件（442,034円） 29年度：3件（500,000円）
3	水産物販売促進事業 (H28～H29:継続)	S50～	「青森県ほたて流通振興協会」と連携しながら、「青森ほたて」を全国的にPRしていくほか、県等が実施する水産加工業の発展支援のための調査への協力、さらには市内外で開催する水産関係イベントを通じて、本市水産物のPRを行ない、消費拡大に取り組みました。 【主な実績】 ・うしろがた漁港まつりでのほたてのふるまい（青森県ほたて流通振興協会「ほたて貝消費拡大宣伝事業」）の支援〔28年度、29年度実施〕 ・アオモリンク赤坂での陸奥湾産マボヤPR（後潟漁協主催）の支援〔29年度実施〕
4	ナマコの食ブランド化推進事業 (H28～H29:継続)	H19～	関係団体と連携して『あおもりナマコブランド化協議会』を組織し、ナマコの付加価値化及び販売戦略の構築、またPRの強化を行いながら、新たな商品の開発及び消費拡大と販路拡大を図りました。 【主な実績】ナマコメニューの開発（ナマコの提供及び開発費支援） 28年度：3店舗 29年度：3店舗

3. 施策の総合評価と今後の課題

【総合評価】

「農林水産業総生産額」は、平成27年度以降は未確定であるものの、市の主要農産物であるりんごは、みかんなどの競合果実の流通量が少なかったことなどから、近年高値基調で推移していること、同じく主要産物であるコメも、価格が不安定ではあるものの、平成27年度以降は回復基調となっていることなどから、平成27年度以降の「農林水産業総生産額」は、平成26年度と比較して増加するものと予想されます。

「身近な農林水産物を得ることができる満足度」については、「あおもりマルシェ」などの産直市の開催支援や、市民が市産りんごを購入できる機会として「青森市産りんご大市」の開催などに取り組んだ結果、平成28年度実績は基準値を上回っています。

【今後の課題】

市産農水産物を大消費地である首都圏で販売するためには、今後激化が予想される産地間競争に勝ち抜いていかなければなりません。

このことから、市産農林水産品のブランド化及び高付加価値化に積極的に取り組むとともに、あおもり産品のPRをさらに強化し、域内外での販売力を高めていく必要があります。

4. 今後踏まえるべき環境変化

経済連携協定の拡大による農林水産業政策への影響

1. 施策の基本情報

施策番号	3 - 2 - 1		施策名	農地の維持・保全					
施策の現状と課題	農地については、耕作放棄地が年々増加しており、周辺農地での営農活動にも悪影響を及ぼす恐れがあることから、規模拡大に意欲ある担い手などへの農地の利用集積を促進するとともに、地域が一体となって優良農地と農村環境の保全を図る必要があります。								
施策の概要	農業の生産基盤である農地の適正な管理とその有効活用を通じて、多面的機能の確保を図ります。 《農地の維持・保全》《農地の有効活用》								
目標とする指標		基準値	実績値					傾向	
		H27	H28	H29	H30	H31	H32		
① 耕作放棄地面積 (耕作放棄地面積の累計) (単位：ha) (指標の方向：-)	目標値	419.9 (H26)	408.1	396.3	384.5	372.7	360.9		
	指標値	419.9 (H26)	324.6	313.7	**	**	**		
	達成率	/	125.7%	126.3%	**	**	**		
	達成度※	A	H28年度・H29年度とも、目標値以上に耕作放棄地面積が減少しています。						
② ほ場整備の割合 (ほ場整備事業完了面積が田の耕地面積に占める割合) (単位：%) (指標の方向：+)	目標値	74.5	74.5	74.5	74.5	77.3	79.1		
	指標値	74.5	74.5	74.5	**	**	**		
	達成率	/	100.0%	100.0%	**	**	**		
	達成度※	A	H28年度・H29年度は、ほ場整備が終了する地区がないことから、目標値はH27年度の基準値と同一となっています。						
③ (単位：) (指標の方向：)	目標値								
	指標値								
	達成率	/							
	達成度※								
④ (単位：) (指標の方向：)	目標値								
	指標値								
	達成率	/							
	達成度※								
市民意識調査	満足度調査						ニーズ度調査		
	項目内容	優良農地が確保されているとともに、遊休農地の有効活用を通じた耕作放棄地化の抑制が図られている						H28	第 59 / 75 位
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答				
	年度								
H28	4.5%	25.1%	19.9%	50.4%					

※ 「目標とする指標」における達成度
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	農地利用集積事業 (H28～29:継続)	H13～	農業従事者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加といった地域農業が抱える問題の解消のため、地域の中心となる経営体への農地利用集積の方向性、地域農業のあり方等についての集落レベルでの話し合いに基づき、平成24年度から、全19地区で「人・農地プラン」を作成し、毎年度、見直し・修正するとともに、地域の中心となる経営体への農地の利用集積を進めています。 主な実績として、農地中間管理機構を通じて平成28年度に171.8ha、平成29年度に144.4haの農地を担い手農家に貸付しています。
2	耕作放棄地対策事業 (H28～29:継続)	H21～	国の荒廃農地等利活用促進交付金を活用し、農業者や農業者組織等が荒廃農地を引き受けて作物生産を再開するために行う、雑草・雑木の除去、耕起、整地等の再生作業等の取組に対して助成し、荒廃農地の発生防止と解消を図ります。 主な実績として、平成28年度は63a、平成29年度は123aの耕作放棄地が解消されています。
3	多面的機能支払交付金 (H28～29:継続)	H19～	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、農業者や地域住民が参加する団体が農業用施設の適切な保全と環境の保全等に取り組む共同活動に対して、管理する農用地面積に応じて交付金を交付しました。 主な実績として、活動団体数が平成28年度は26団体、平成29年度は25団体となっています。
4	ほ場整備推進事業（負担金） (H28～29:継続)	—	農地の大区画化と農道、水路等を併設して、生産性を向上するため、地権者等地域からの申請により、国庫補助金を活用して実施する県営事業であり、市は工事等にかかる費用の10%を負担しています。 現在、荒川中部地区、八ツ役地区、諏訪沢地区、上野地区、幸畑地区の整備を実施しています。

3. 施策の総合評価と今後の課題

【総合評価】

農地の維持・保全については、計画通り着実にほ場整備を進めており、施策の指標である「ほ場整備の割合」は目標を達成しています。

農地の有効活用については、「人・農地プラン」作成による地域ぐるみでの話し合いや農地中間管理機構による農地集積対策を実施するとともに、荒廃農地等利活用促進交付金や多面的機能支払交付金を活用することにより、施策の指標である「耕作放棄地面積」は減少し、目標を達成しています。

【今後の課題】

耕作放棄地が増加すると周辺の耕地にも悪影響を及ぼすことから、生産基盤の整備に伴う農地集積や地域ぐるみでの農地の維持保全と有効活用に取り組む必要があります。

4. 今後踏まえるべき環境変化

1. 施策の基本情報

施策番号		3 - 2 - 2	施策名		森林の維持・保全			
施策の現状と課題		森林については、長引く木材価格の低下などにより、私有林における間伐などの適切な施策が十分に行われていないことから、長期的な視点に立った、計画的な森林の保全管理に取り組む必要があります。						
施策の概要		林業の生産基盤である森林などの適正な管理とその有効活用を通じて、森林が持つ多面的機能の確保を図ります。 《森林資源の確保》 《生産基盤の充実》						
目標とする指標		基準値	実績値					傾向
		H27	H28	H29	H30	H31	H32	
① 森林施策計画の認定割合 民有林面積に占める森林施策計画の認定面積の割合 (単位：%) (指標の方向：+)	目標値	22.9 (H26)	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0	
	指標値	22.9 (H26)	12.2	12.3	**	**	**	
	達成率		53.0%	53.5%	**	**	**	
	進捗状況	実績値は目標値に対し、低調に推移しています。						
達成度*	C							
② 林道舗装延長 林道の舗装延長 (単位：m) (指標の方向：+)	目標値	12,909	12,987	13,065	13,143	13,221	13,300	
	指標値	12,909	12,948	12,980	**	**	**	
	達成率		99.7%	99.3%	**	**	**	
	進捗状況	舗装延長は延伸しているが、実績値は目標値を下回っている値となっています。						
達成度*	C							
③ (単位：) (指標の方向：)	目標値							
	指標値							
	達成率							
	進捗状況							
達成度*								
④ (単位：) (指標の方向：)	目標値							
	指標値							
	達成率							
	進捗状況							
達成度*								
市民意識調査	満足度調査						ニーズ度調査	
	項目内容	健全な森林資源の維持増進が図られるとともに、林道の保全・改良などにより生産基盤が整備されている						H28 第 63 / 75 位
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答			
	年度							
H28	5.7%	28.9%	16.2%	49.2%				

※ 「目標とする指標」における達成度
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	森林整備地域活動支援事業 (H28～29:継続)	H14～	<p>森林の有する多面的機能が十分に発揮されるよう適切な森林整備の推進を図るため、森林組合あおもりに交付金を交付し、森林所有者等による計画的かつ一体的な森林施業の実施に不可欠な森林所有者の調査、境界確定等の活動に支援しました。</p> <p>・森林整備地域活動支援交付金交付面積 平成28年度40ha 平成29年度20ha</p>
2	市有林造林事業 (H28～29:継続)	—	<p>市の面積の約7割を占める森林のうち、市が所有する森林である市有林（内真部・前田・鶴ヶ坂・前岳・合子沢・浅虫）について、造林・保育等の森林整備を行いました。</p> <p>・市有林保育面積 平成28年度は9ha 平成29年度は12ha</p>
3	林地台帳整備事業 (H29:新規)	H29～	<p>所有者や境界が不明確な森林が増加し、森林整備を進める際の支障となっていることから、国の法律が改正され、青森市内の森林の所有者などを明らかにするとともに、森林の集約化を促進することを目的として、林地台帳の整備に着手しました。</p> <p>・林地台帳作成面積 平成29年度 26,420ha</p>
4	林道補修事業 (H28～29:継続)	H10～	<p>定期的に補修を行いながら維持管理に努め、主に市管内民有林に開設した林道の舗装を行いました。</p> <p>・林道補修（舗装） 平成28年度 L=39m 平成29年度 L=32m</p>

3. 施策の総合評価と今後の課題

【総合評価】
 森林所有者等が所有林の施業及び保護等についてまとめる「森林経営計画」（旧森林施業計画）を作成し、森林整備の推進を図っていますが、経営意欲の低下や高齢化などにより、期限切れとなった森林経営計画の更新が思うように進んでいません。
 林道は地域の森林の整備を効率的に行うための基盤となっており、舗装や碎石の補充、路肩崩壊部分の補修作業などを行っていますが、林道舗装延長は目標値を下回る値となっています。

【今後の課題】
 木材価格の低迷や労賃等の経営コストの上昇による林業生産活動の停滞に伴い、森林所有者の経営意欲が減退していることから、県産材の利用促進に取り組む必要があります。
 森林が持つ多面的機能の確保を図るため、計画的な森林の保全管理に取り組む必要があります。

4. 今後踏まえるべき環境変化

森林経営管理法（案）への対応

1. 施策の基本情報

施策番号	3 - 2 - 3		施策名	漁港・漁場環境の維持・保全					
施策の現状と課題	漁港・魚場については、漁港施設の維持や長寿命化など、持続的な水産業の発展に向け、生産基盤の維持・保全に取り組む必要があります								
施策の概要	水産業の生産基盤である漁港などの適正な管理とその有効活用を通じて、水産資源の保護を図ります。 《漁港環境の充実》《良好な漁場環境の形成》								
目標とする指標		基準値	実績値					傾向	
		H26	H28	H29	H30	H31	H32		
① 漁港の耐震化率 〔市内の漁港の耐震化されている割合〕 (単位：％) (指標の方向：＋)	目標値	0	0.0	0.0	33.0	33.0	66.0		
	指標値	0	0.0	33.0	**	**	**		
	達成率	/	-	-	**	**	**		
	達成度 [※] 進捗状況	目標値より前倒しで実施されています。							
② 漁業生産量 〔市内の漁業生産量の合計〕 (単位：t) (指標の方向：＋)	目標値	10,335	18,631	18,773	18,916	19,058	19,204		
	指標値	10,335	19,447	11,371	**	**	**		
	達成率	/	104.4%	60.6%	**	**	**		
	達成度 [※] 進捗状況	平成28年度は目標を上回りましたが、平成29年度は下回りました。							
③ (単位：) (指標の方向：)	目標値								
	指標値								
	達成率	/							
	達成度 [※] 進捗状況								
④ (単位：) (指標の方向：)	目標値								
	指標値								
	達成率	/							
	達成度 [※] 進捗状況								
市民意識調査	満足度調査						ニーズ度調査		
	項目内容	機能的で潤いのある漁港環境が形成されているとともに、漁場環境が保全されている						H28	第 74 / 75 位
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答				
	年度								
H28	6.8%	30.8%	11.4%	51.1%					

※ 「目標とする指標」における達成度
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	久栗坂漁港耐震化整備事業（負担金） （H28～29：継続、終了）	H28～	漁業者の安全確保を図るため、国の指針に基づき、大きな地震に備え、久栗坂漁港の荷捌き施設等に係る耐震診断を行い、基盤となる施設の機能強化を図りました。 平成29年度に、耐震化のための補強工事を完了しました。
2	久栗坂漁港整備事業（負担金） （H28～29：継続、終了）	H24～	久栗坂漁港では、近年荒天時の越波により漁港の破損や漁具の流出被害が発生していたことから、漁業者の安全確保を図るため、防波堤や護岸の改良工事などを行いました。 平成29年度には、西護岸の改良工事を行いました。
3	後潟漁港整備事業（負担金） （H28～29：継続、終了）	H26～	後潟漁港では、漁港内に老朽化によるひび割れや欠損が発生していることから、漁業者の安全確保を図るため、護岸や物揚場の改良工事などを行いました。 平成29年度には、護岸、物揚場の改良工事を行いました。
4			

3. 施策の総合評価と今後の課題

【総合評価】

市管内漁港施設について、3漁港（後潟、奥内、久栗坂）のうち2漁港（後潟、久栗坂）の耐震化工事を平成32年度までに順次行うこととしていますが、久栗坂漁港の耐震化工事が平成29年度に完了し、整備目標よりも前倒しで進捗しています。

【今後の課題】

漁港及び漁場は水産業の重要な基盤であることから、将来的に良好な状態を維持するため、漁業者及び県との連携のもと、老朽化等に対応した漁港・漁場整備を計画的かつ継続的に実施する必要があります。

4. 今後踏まえるべき環境変化

1. 施策の基本情報

施策番号	3 - 3 - 3	施策名	流通機能の強化					
施策の現状と課題	流通機能については、消費市場の量的・質的变化や取引形態の変化に対応できる流通機能を構築するため、県内外から多種多様な商品が集まる卸売市場をはじめとする物流拠点機能の充実・高度化を図るとともに、物流基盤の強化や情報受発信機能の充実を進める必要があります。							
施策の概要	流通拠点都市としての機能充実を進めます。 《卸売市場の機能充実》《物流機能の充実》							
目標とする指標		基準値	実績値					傾向
		H26	H28	H29	H30	H31	H32	
① 卸売市場年間取扱高 (卸売市場で取扱う青果、水産物、花きの年間の取扱金額の合計) (単位：百万円) (指標の方向：+)	目標値	40,303	40,303	40,303	40,303	40,303	40,303	
	指標値	40,303	41,009	38,290	**	**	**	
	達成率	/	101.8%	95.0%	**	**	**	
	達成度※	平成28年度は目標値を上回りましたが、平成29年度は目標値を下回っています。						
	進捗状況	C						
② 流通関連事業者に対する経営相談・指導件数 (経営指導員による流通関連事業者に対する経営相談・指導件数) (単位：件) (指標の方向：+)	目標値	7,050	7,050	7,050	7,050	7,050	7,050	
	指標値	7,050	6,357	6,700	**	**	**	
	達成率	/	90.2%	95.0%	**	**	**	
	達成度※	平成29年度は増加に転じていますが目標値を下回っています。						
	進捗状況	B						
③	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	達成度※							
	進捗状況							
④	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	達成度※							
	進捗状況							
市民意識調査	満足度調査						ニーズ度調査	
	項目内容	卸売市場が有する、県内における流通拠点としての機能が発揮されている					H28	第 68 / 75 位
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答			
	年度							
H28	7.6%	36.9%	18.8%	36.7%				

※ 「目標とする指標」における達成度
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	市場活性化事業 (H28～29:継続)	—	市場PR、食育推進等による生鮮食料品の消費拡大を通じ、市場取引高の増加に向け市場の活性化を図っており、平成29年度には青森市中央卸売市場開設45周年記念イベントを開催しました。 主な実績として、市場PRに関するイベント等の開催数が平成28年度は7回、平成29年度は6回となっています。
2	せり人育成事務 (H28～29:継続)	—	せり人の質の向上に向け、卸売市場法や条例等の講習会を開催し試験を実施することで、「せり」取引による公正な価格決定の信用性を確保しています。 主な実績として、せり人講習会及びせり人試験は平成23年度から平成29年度までいずれも年1回開催し、せり人の育成に努めています。
3	卸売市場経営ビジョン推進事業 (H28～29:継続)	—	国の卸売市場整備基本方針の内容を踏まえて持続可能な市場を目指していくことを目的に策定した「青森市中央卸売市場経営ビジョン」については、市場関係者と一体となって推進していくこととしており、当該ビジョンの内容については卸売市場法の改正を踏まえ、必要に応じて見直しを行なうなど、適切に進捗管理することとしています。
4			

3. 施策の総合評価と今後の課題

【総合評価】

これまで市場活性化事業等により流通機能の強化に取り組んできたものの、近年のインターネット取引や産地直接取引など市場外流通の増加により、卸売市場の取扱高が減少傾向にあります。

【今後の課題】

産地直接取引といった市場外流通の増加等により、市場の取扱高が減少していることから、市場取引の活性化に向けた方策の検討が必要です。

4. 今後踏まえるべき環境変化

